

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

様式1(その1)

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度		
(フリガナ)						
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

		点検者に記録		点検責任者に記録			
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁						
	横桁						
	床版						
下部構造							
支承部							
その他							

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(変状状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p style="text-align: center;">上部構造()【判定区分: 】</p>	<p style="text-align: center;">上部構造()【判定区分: 】</p>
<p style="text-align: center;">支承部【判定区分: 】</p>	<p style="text-align: center;">下部構造【判定区分: 】</p>

点検調書(その1) 橋梁の諸元と総合検査結果											緯度		経度											
ふりがな		ブロック番号		橋梁番号		点検年月		今回		前回														
橋梁名		路線	道路種別		路線指定																			
所在地			路線名		点検実施者																			
架設年		橋長		活荷重・等級		適用示方書				物件1														
上部工形式		幅員	全幅員		地覆幅		歩道幅		車道幅・車線		車道幅・車線		歩道幅		地覆幅		中央帯		中央分離帯		交差物件		物件2	
			有効幅員																				物件3	
下部工形式		調査足場						その他の方法														物件4		
基礎形式				関係機関協議先																				
総合診断結果		健全度 (橋単位)																						

点検調書(その2) 一般図				緯度		経度	
ふりがな	ブロック番号	橋梁番号		点検年月	今回	前回	
橋梁名	路線	道路種別	路線指定				
所在地		路線名	点検実施者				

一 般 図	
-------------	--

点検調書(その3) 現地状況写真

緯度 経度

ふりがな		ブロック番号		橋梁番号		点検年月	今回	前回
橋梁名		路線	道路種別		路線指定			
所在地			路線名		点検実施者			

現 況 状 況 写 真	写真番号		メモ	写真番号		メモ	
	写真説明			写真説明			
	写真番号		メモ	写真番号		メモ	
	写真説明			写真説明			

点検調書(その5) 損傷図		径間番号			緯度		経度	
ふりがな	ブロック番号		橋梁番号		点検年月	今回	前回	
橋梁名	路線	道路種別	路線指定					
所在地		路線名	点検実施者					

損 傷 図	
-------------	--

点検調書(その6) 損傷写真		径間番号						緯度		経度	
ふりがな		ブロック番号		橋梁番号		点検年月		今回		前回	
橋梁名		路線		道路種別		路線指定					
所在地				路線名		点検実施者					
損 傷 写 真	写真番号	径間番号		メモ		写真番号	径間番号		メモ		
	部材名					部材名					
	損傷の種類	損傷程度				損傷の種類	損傷程度				
	写真番号	径間番号		メモ		写真番号	径間番号		メモ		
	部材名					部材名					
損傷の種類	損傷程度		損傷の種類			損傷程度					

点検調書(その7) 部材番号図					緯度		経度	
ふりがな	ブロック番号	橋梁番号		点検年月	今回	前回		
橋梁名	路線	道路種別	路線指定					
所在地		路線名	点検実施者					
部 材 番 号 図								